



ふれあい

高花平小学校 学校だより
No. 17
平成 27(2015)年 11月
☎高花平小 320-2074, 321-3040

地区文化祭

おおひと
多くの人でにぎわう…

たかはなだいらだんち
高花平団地ができて間も
なくから始まった、文化祭。
ことしはあきば
今年、秋晴れのいいお
てんきおおひとたの
天気で、多くの人に楽しんで
もらえました。
しやきょう
社協のみなさんを中心
に、高花平小林町自治会、
かくだんたい
各団体・サークル、ほいくえん
保育園・
ようちえん
幼稚園、しょうがっこう
小学校など、みんな

こどもたちや地域の方の作品展示、舞台発表、PTAバザーなどおおにぎわい



なでつくりあげたすてきな文化祭でした。学校・PTAも、少しでも地域に貢献することができてよかったです。これからも、みなさんの“出会い、ふれあいの場”として、盛り上げていきましょう。

《PTAのみなさんには、1学期からこつこつと準備を進めていただき、本当におつかれさまでした!!》

……**当日の様子は、ぜひHPでもご覧ください。カラー写真です!**……



どなた? ~クツのまちがい、スリッパの忘れ物~
「アッ、私のくつじゃない!」…家庭科室近くの入口で、『黒い女性用のクツ』を、まちがえた方がいます。また、『チェック柄のスリッパ』も、忘れてありました。心当たりの方、学校まで。
(*洗濯バサミではさむなど、お互いに気をつけましょう。)

三重県・四日市の防災メールで、情報キャッチを!

~ 私たち学校職員も、県・市の「防災メール」で情報をすばやくキャッチしています。~

- 三重県の防災メール a@bosaimie.jp
- 四日市の防災メール t-yokkaichi-city@sg-m.jp

*左のメールアドレスに「空メール」を送ると、登録用URLがメールで届きます。書かれている手順にしたがって、登録します。

★とてもはやく便利です!! (が、夜中でもメールは届きます。覚悟を…?!)

あぶない場所は ありませんか？

～ みなさんの家の近くで、**危ない場所**や「ここに看板を表示するといいかも…」というところは ありませんか？

- 「危ない」などの**立て看板・標柱**
- 「**通学路・学童横断**」の**のぼり**
- 「**とまれ**」の**路面シール**
- 「**とびだしぼうや**」の**看板**など、



たくさんあります!!
ぜひ、活用して下さい。
必要な方は、PTA地区
委員さん・**学校**までお知
らせ下さい。↓

☎320-2074, 321-3040



× 電柱や交通標識、ガードレール・パイプなど、公的施設・設備に取りつけないで下さい。

○ 個人の家の塀・柵には、**許可**を得て下さい。

<路面シールのはり方>

- 道路をきれいにはく。(砂・小石などを取り除く)
- ていねいにはりつけ、上からしっかり押さえる。
- 雨など、水分が多いとはがれやすいです。また、真夏・真冬など、路面が熱すぎても、凍っていても貼れません。(今が、グッドタイミング!!)

心のキャッチボール ～ みなさんからの声・34 ～

〈秋の学校開放週間でいただいた保護者さんの声…〉

○ 理科の授業で「かげふみ」を見せていただきました。遊びの中から、発見や学びがあって、とても素敵な授業だなと思いました。

最近、胃腸がぜが流行っているとのこと。トイレのスリッパがないことが感染源になっていないか、少し心配です。(3年生)

○ プリントだけではうまく教えられなかったのですが、(授業を見せてもらって)「こうやって教えたら、わかりやすいんだ～」と、先生の授業からヒントをもらいました。

きめ細かくみてもらっているのので、わが子のように「ゆっくりの子」でも、何とかついていけるような気がして、ありがたいです。ありがとうございました!! (1年生)

→ こんな声をいただくと、先生たちも、うれしいですね！ ますます、「やる気マンマン、ファイトマン！」でがんばってくれるでしょう。ぜひ、よかったこと、うれしかったことは、お知らせくださいね！

～ 先日の新聞・ニュースでも報道されていましたが、「日本の先生は、世界一長時間労働」と言われています。私(校長)も、担任をしていたころは、真っ暗になるまで学校でノートのチェックや翌日の授業準備。

その後、自宅へテストや作文を持ち帰って、採点や添削指導、そして、翌日の授業プラン(黒板の予定、発問・質問、言葉がけ…)を考えるなど、24時間営業のような感じでした。(土日も…)

当時、高花平小に通っていたわが子からは、「お父さんは、自分の子より、クラスの子ののがかわいいいなやな！」と言われたことがあり、今も、そのことは忘れられません。

今、先生たちには、「クラスも大事だけど、自分のお子さんや家庭も大事にしてね。」と、声をかけさせてもらっています。～